

# 令和6年度健康に関するアンケート結果について

## 1 目的

日吉津村健康づくり連絡会で健康を維持し増進を図ることを願い、今後によりよい健康づくり事業に繋げるため、健康に関する意識や状況の実態把握を目的とした。

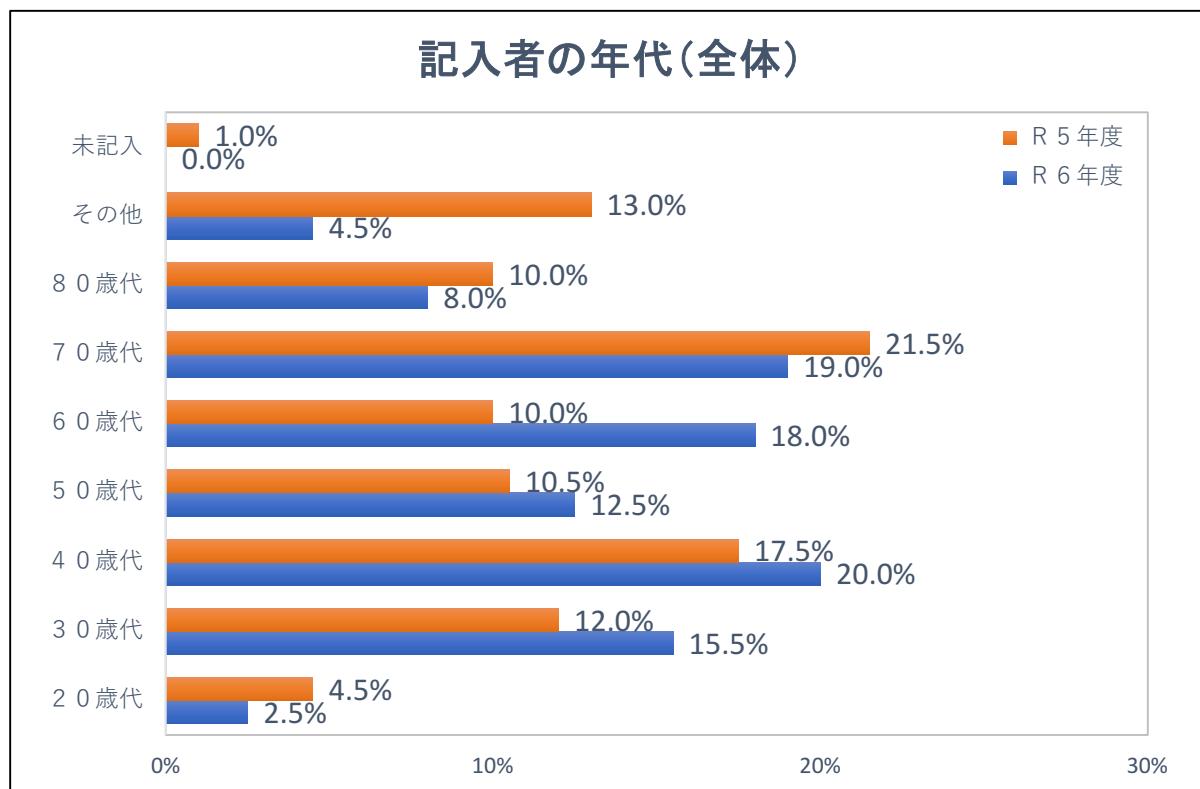
## 2 調査方法

- (1) 対象 ふれあいフェスタ2024ひえづ来場者  
(2) 時期 令和6年11月3日（日）  
(3) 方法 健康づくり連絡会調査部会委員が配布し、その場で記入してもらい回収。（アンケート用紙は、200枚準備。）

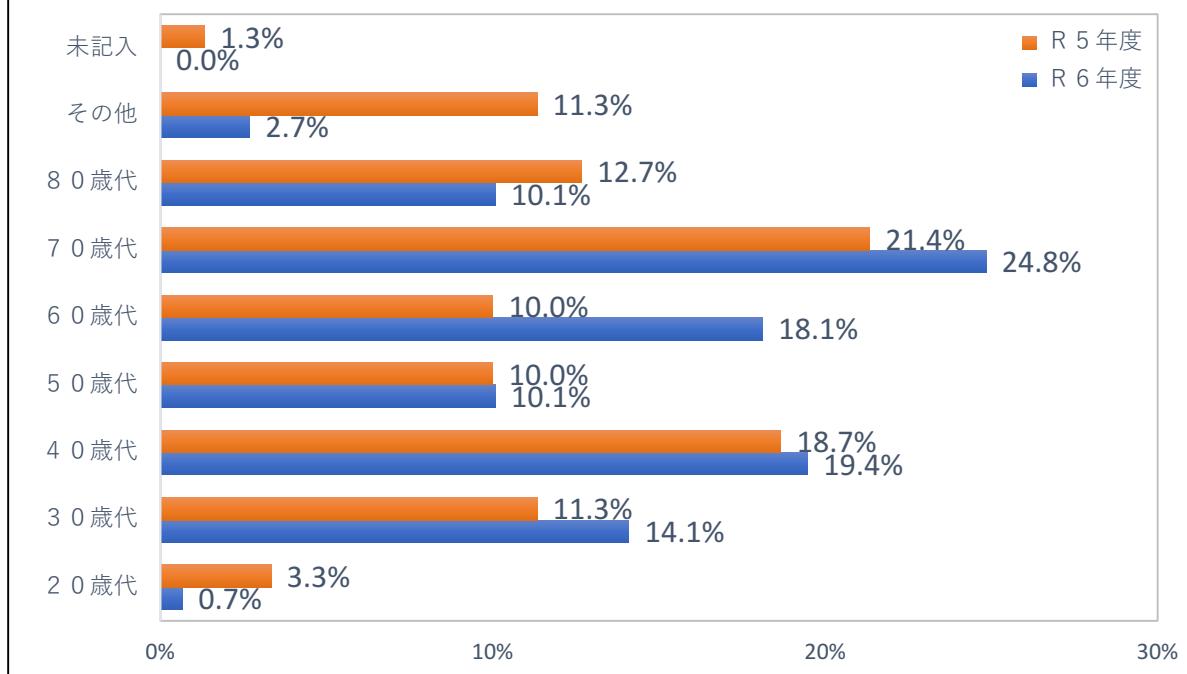
## 3 結果

回収率 100%（回収数 200枚）  
(令和5年度回収率：100%（回収数 200枚）)

### （1）記入者の年代



## 記入者の年代(村内のみ)

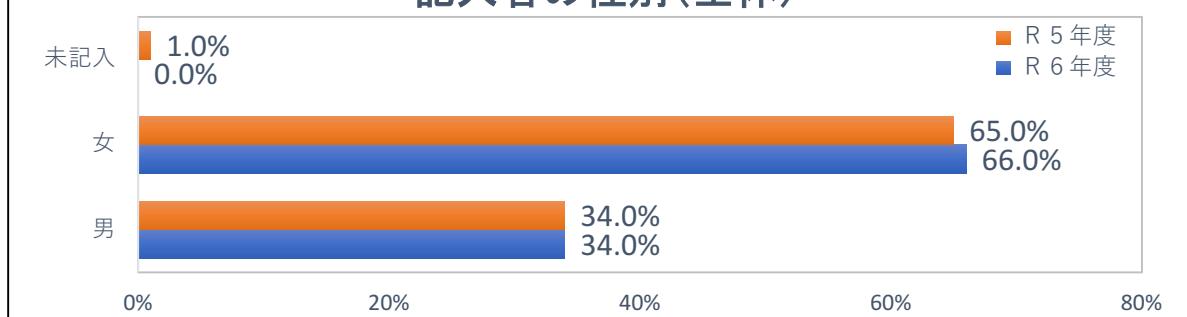


令和5年度より、村内の60歳代の人が約1.8倍増え、20歳代・その他の人気が約1／4に減っていた。

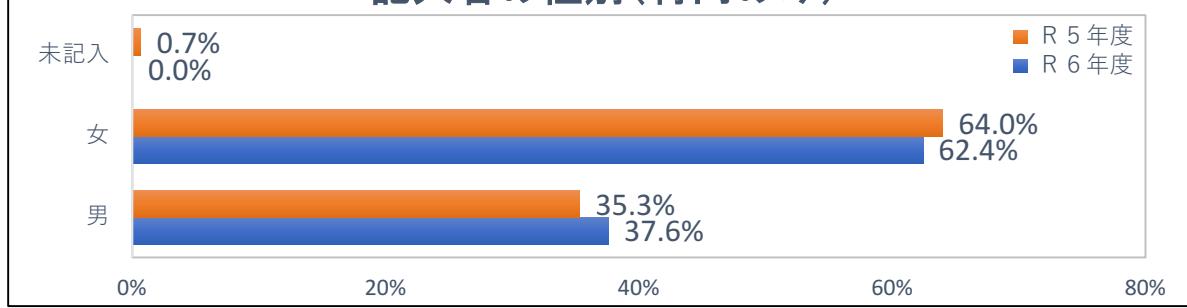
全体は40歳代、村内は70歳代の記入者が最も多かった。

## (2) 記入者の性別

### 記入者の性別(全体)

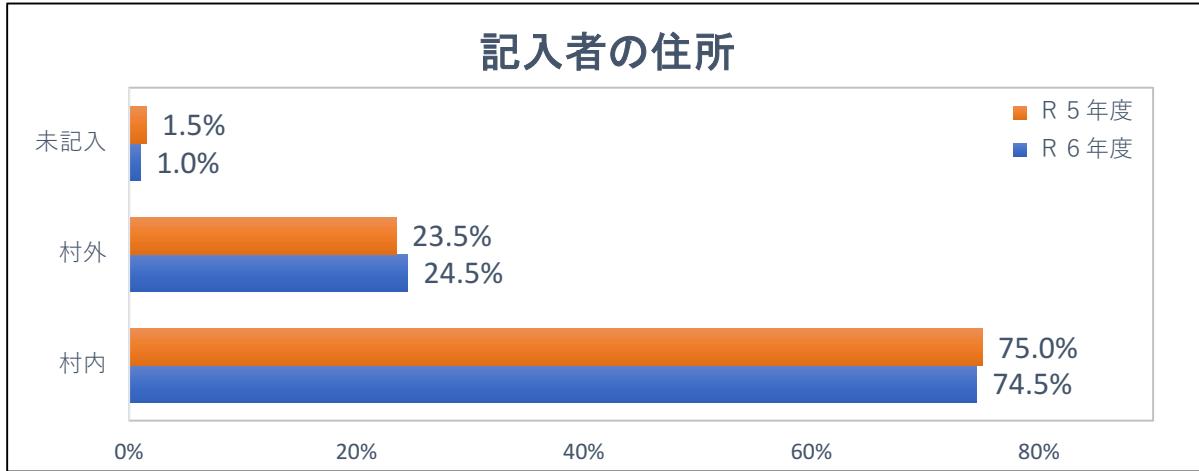


### 記入者の性別(村内のみ)



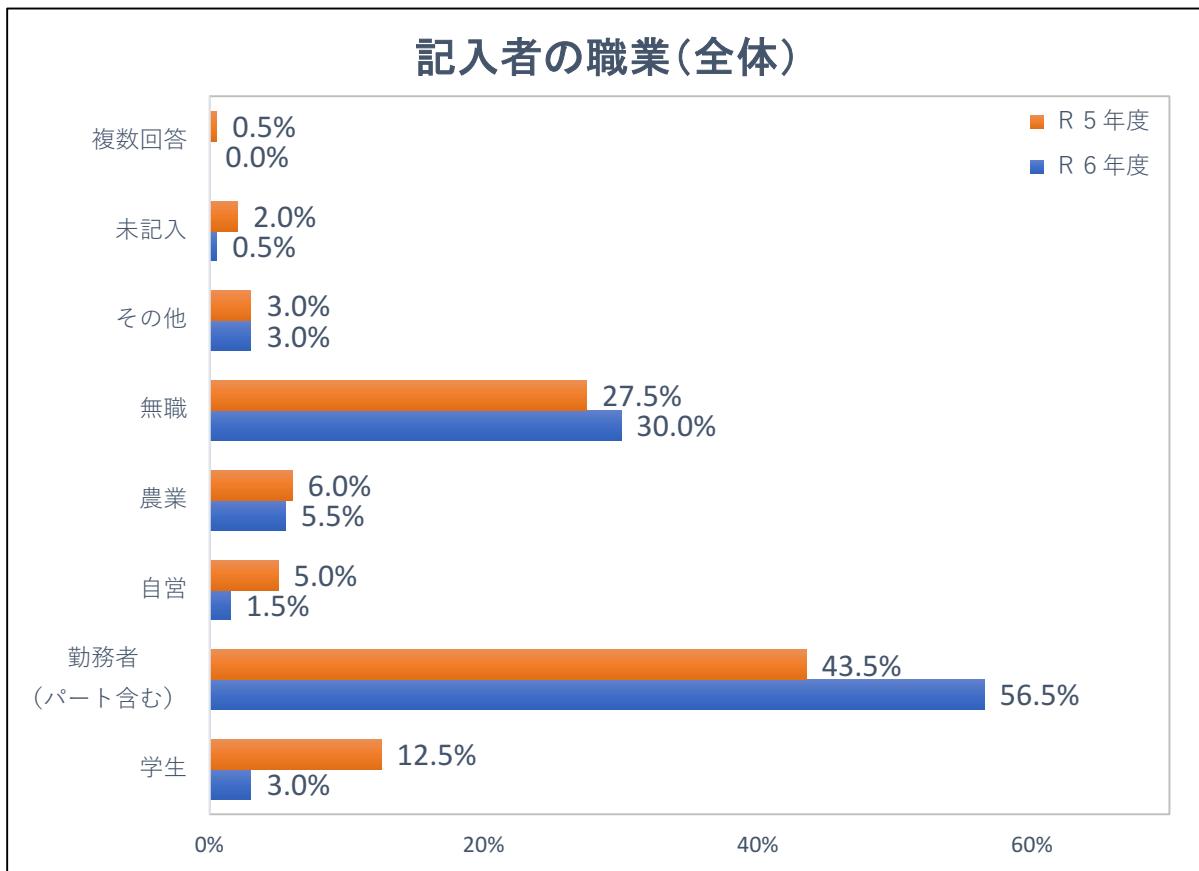
令和5年度と全体は男女ほぼ同じで、村内の男性が微増していたが女性より男性が約1.7倍多かった。

### (3) 記入者の住所

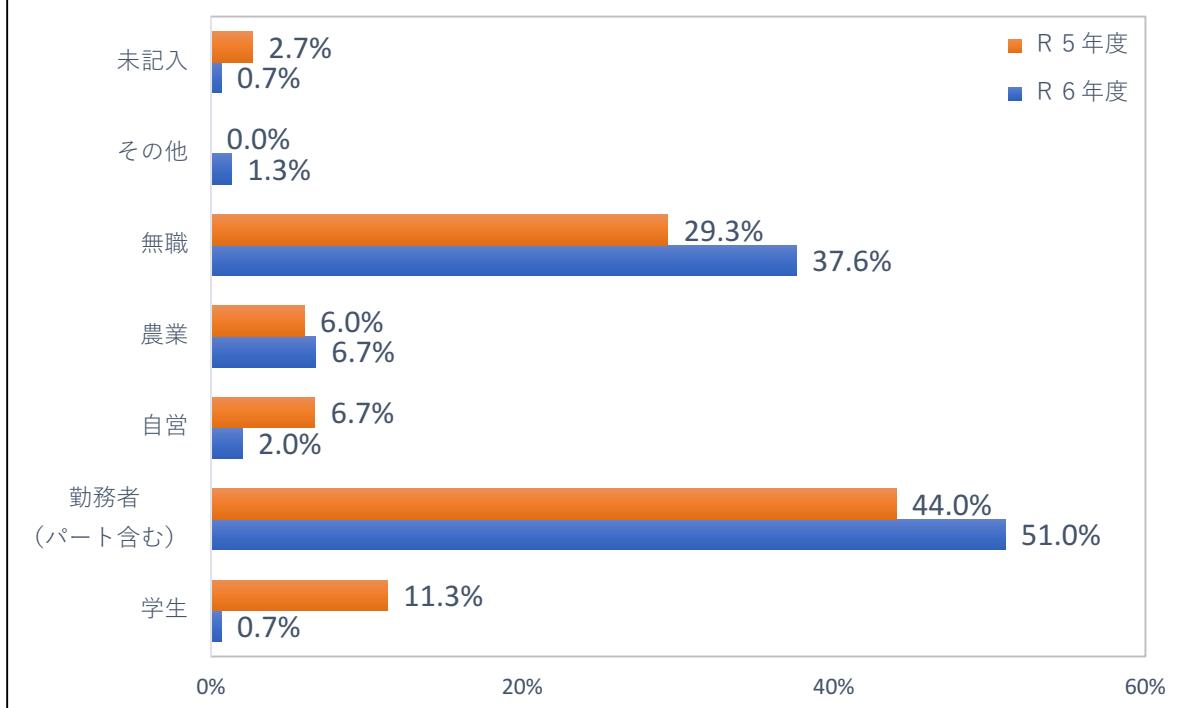


村内の方が 74.5 %と、村外の方より約3倍多かった。

### (4) 記入者の職業



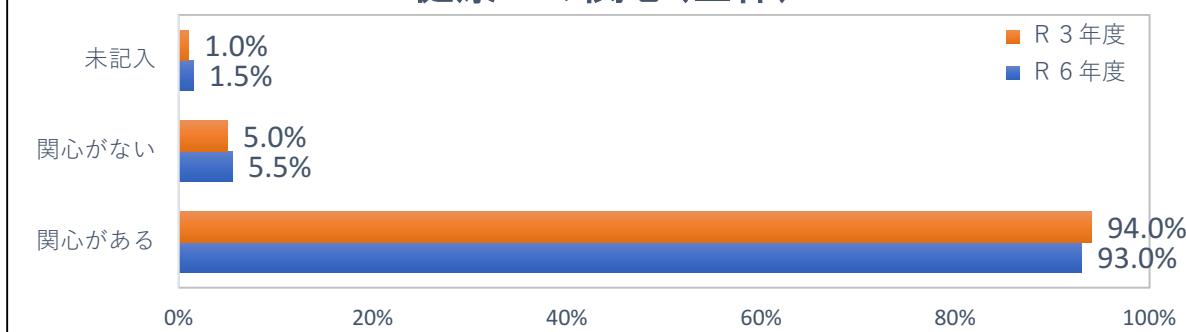
## 記入者の職業(村内のみ)



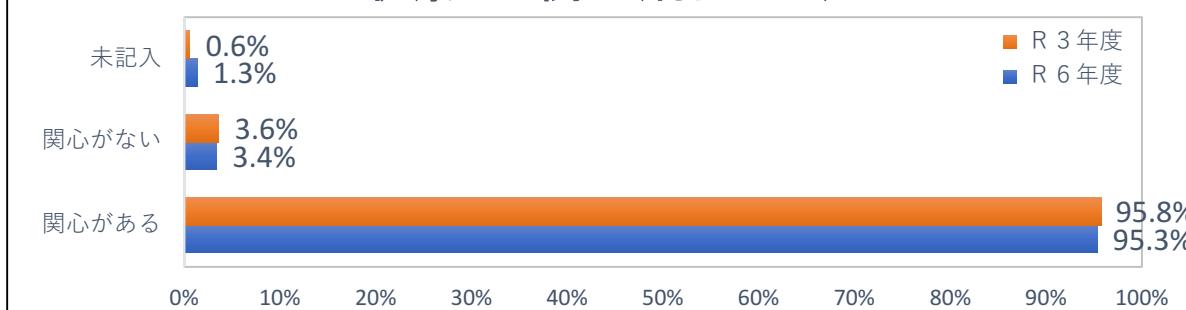
全体・村内ともに勤務者が最も多く、次いで無職が多かった。

### (5) 健康への関心について

#### 健康への関心(全体)

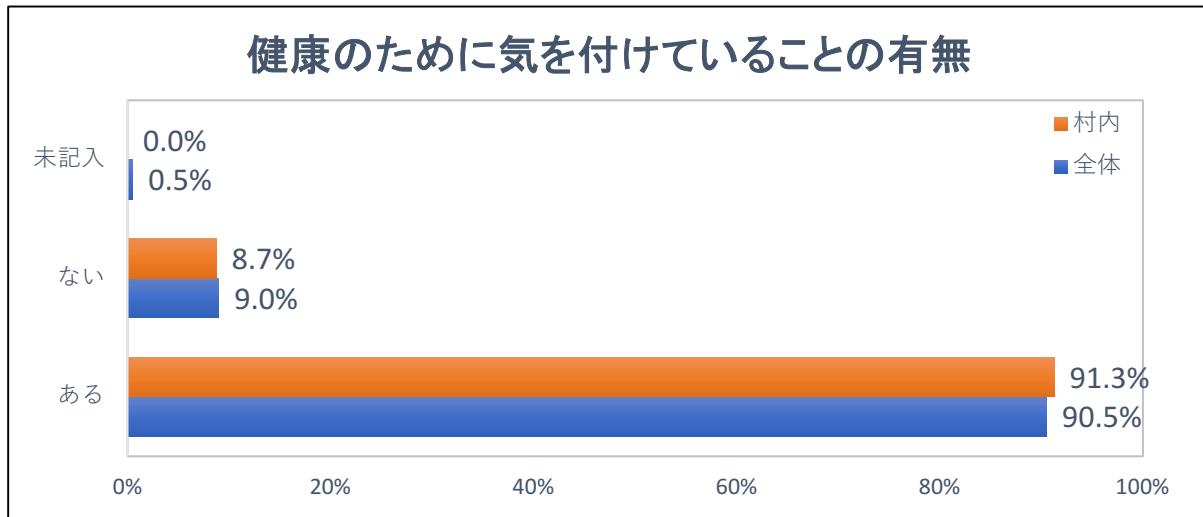


#### 健康への関心(村内のみ)



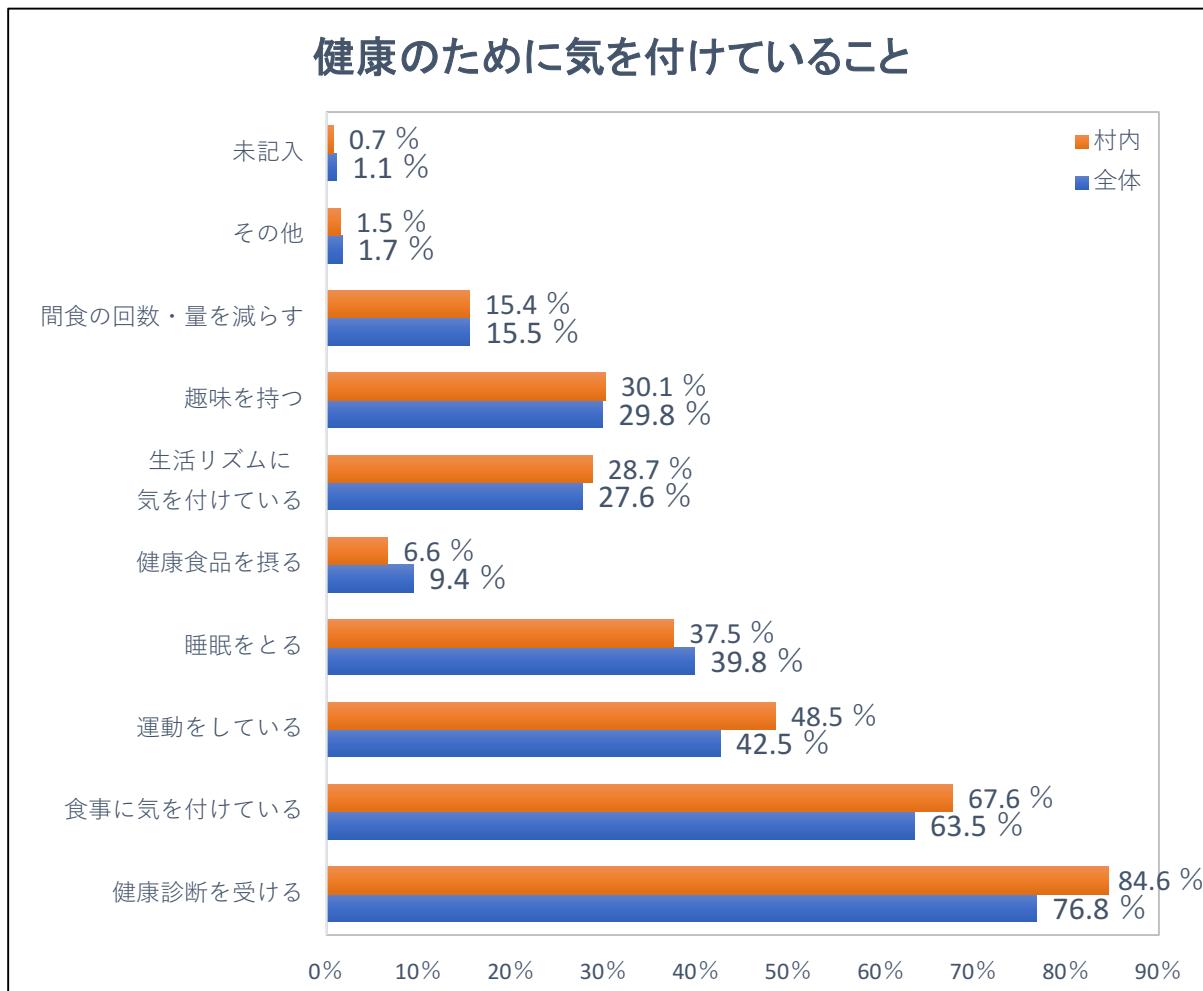
全体・村内ともに令和3年度とほぼ同じで、関心がある人が多かった。

(6) 健康のために気を付けていることの有無



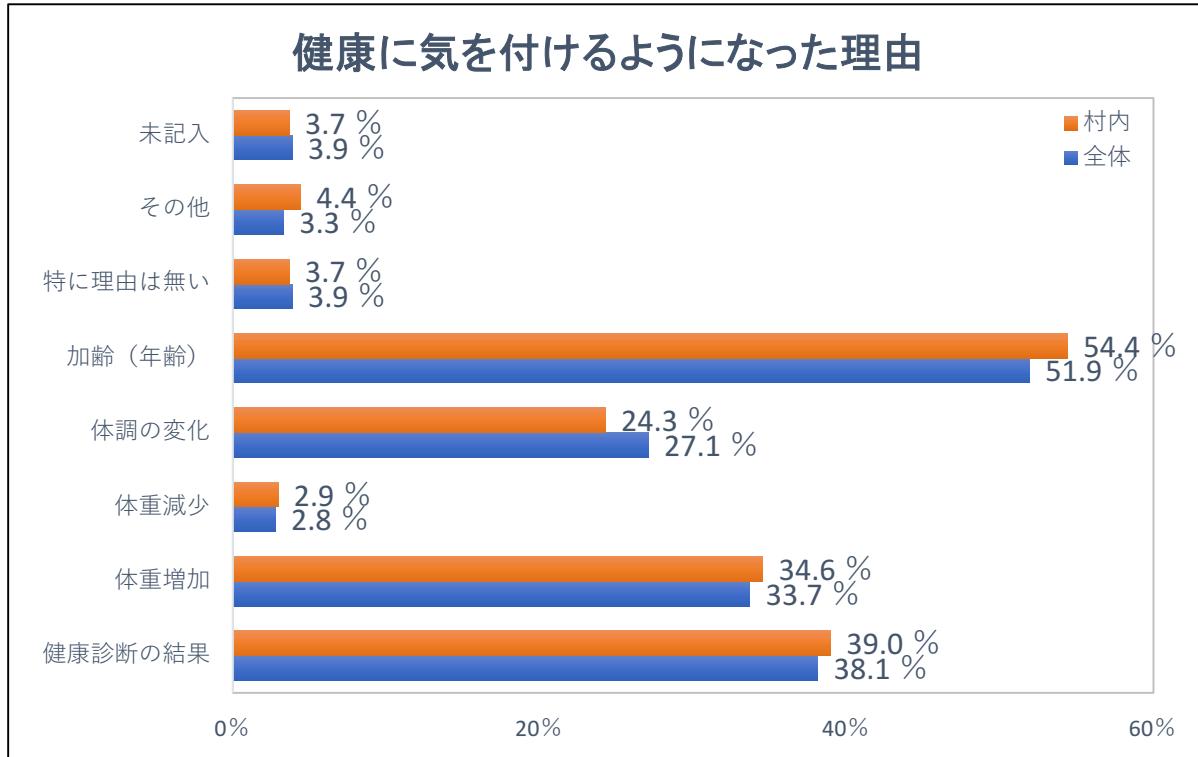
全体・村内ともに気を付けていることがある人が、約10倍多かった。

(7) 健康のために気を付けていること（複数回答）



全体・村内ともに健康診断を受けるが最も多く、次いで食事に気を付けているが多かった。上位3項目は、全体より村内の方が多かった。

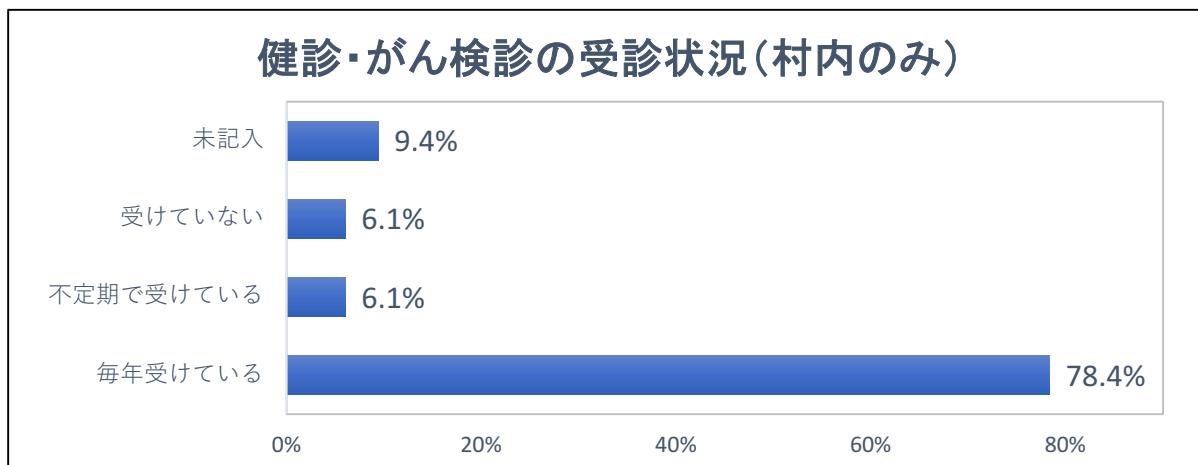
(8) 健康に気を付けるようになった理由（複数回答）



全体・村内ともに加齢（年齢）が最も多く、次いで健康診断の結果が多かった。上位3項目は、全体より村内の方が多かった。

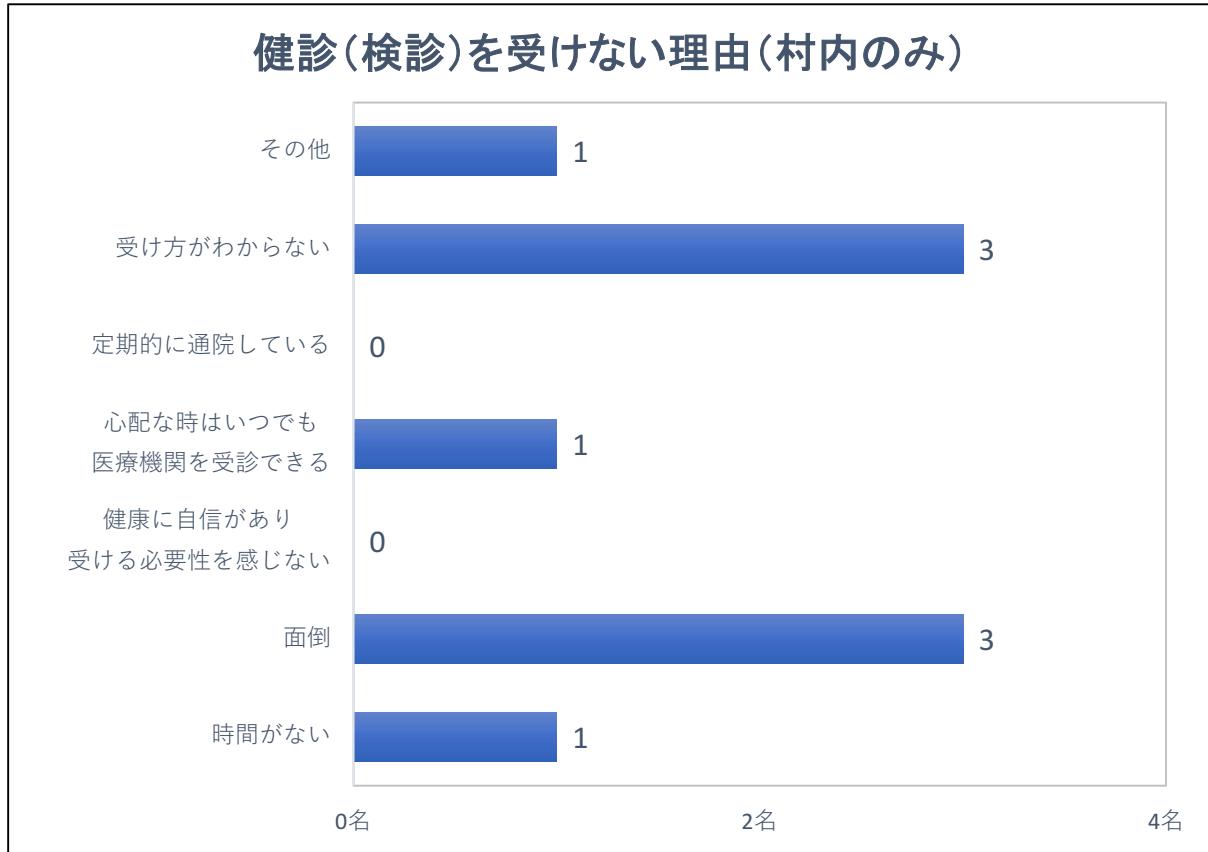
【住所が村内の方のみ】

(9) 健診・がん検診を受けていますか



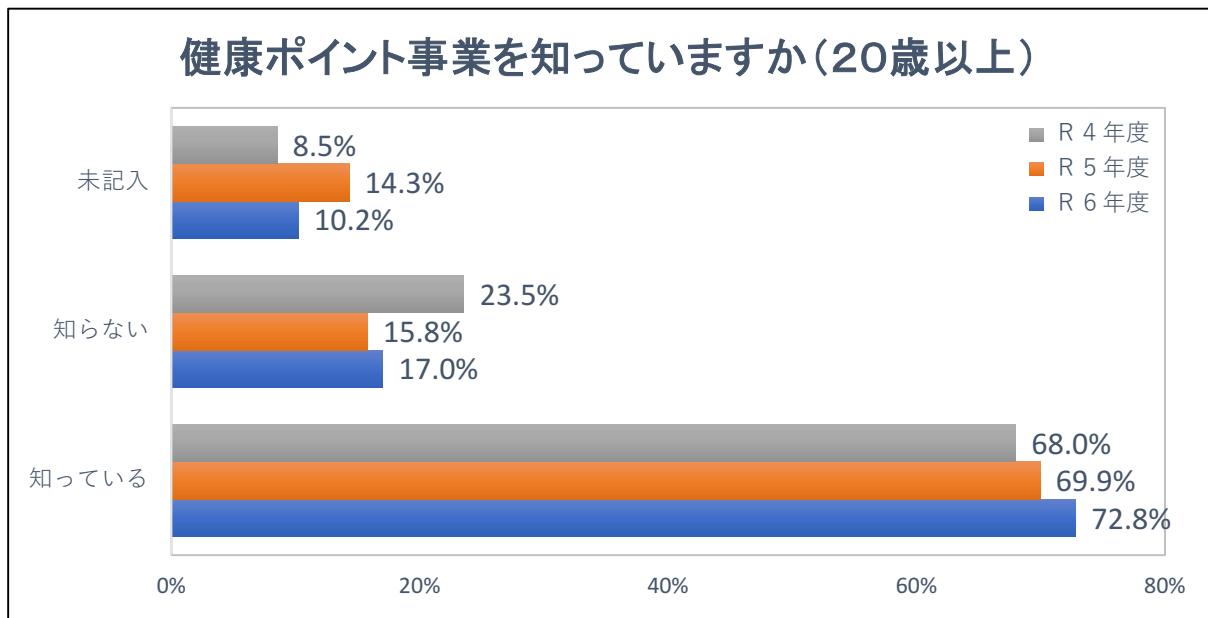
毎年受けているが最も多く、不定期で受けているも合わせると84.5%の方が受けている。

(10) 健診（検診）を受けない理由（複数回答）



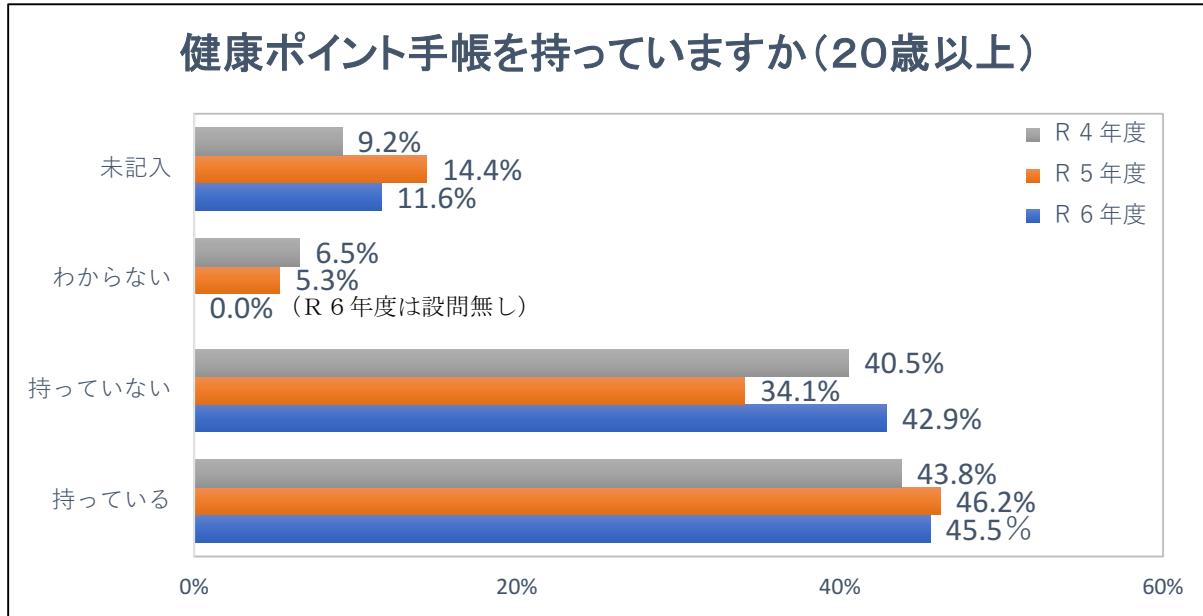
面倒・受け方がわからないが3名ずつで、最も多かった。

(11) 日吉津村が実施している健康ポイント事業を知っていますか



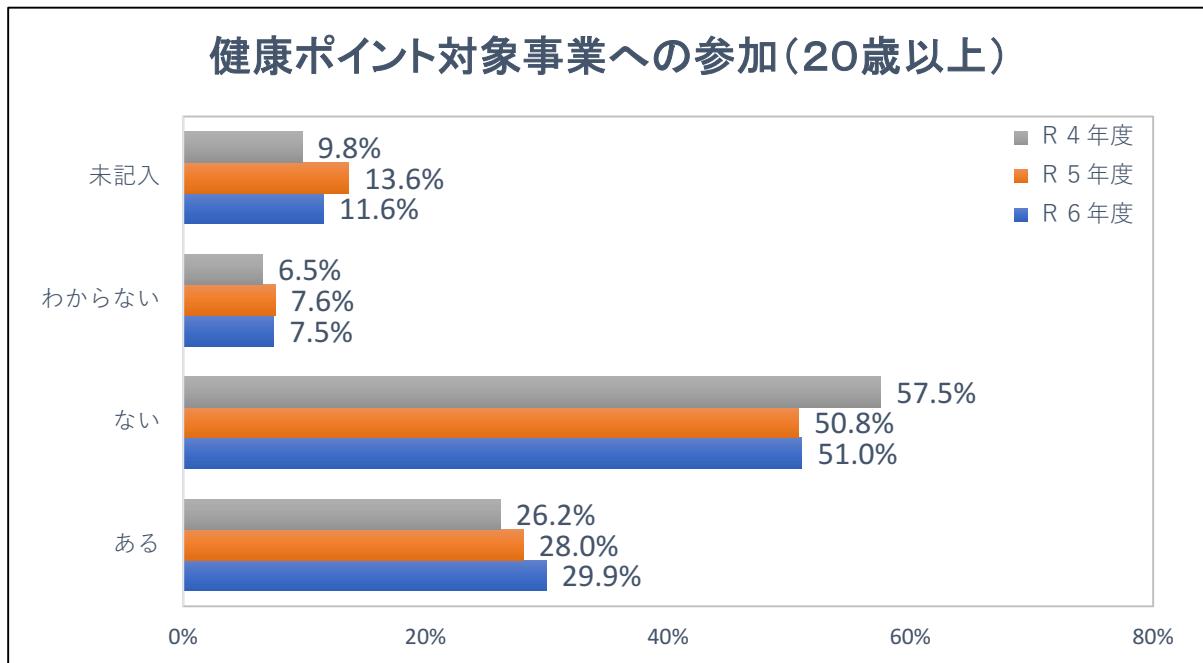
知っているが72.8%と最も多く、年々微増している。

(12) 日吉津村が配布している健康ポイント手帳を持っていますか



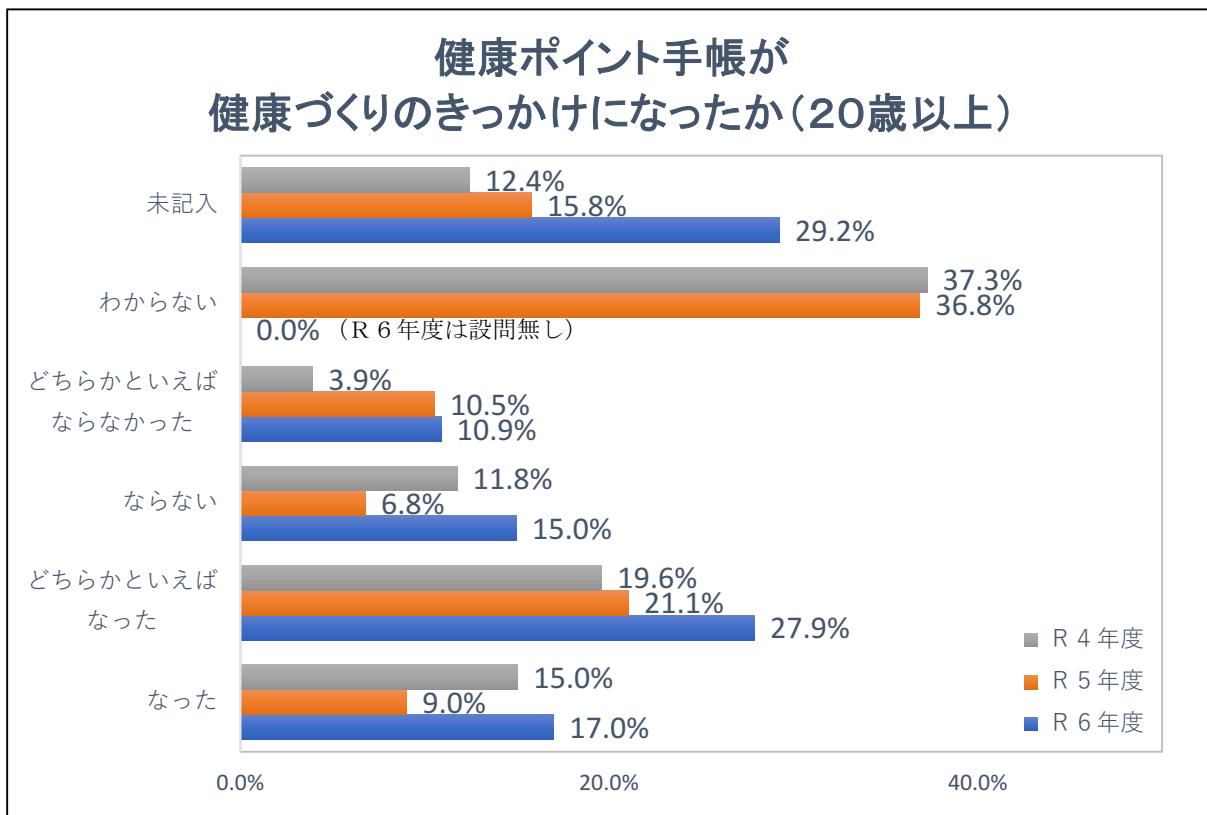
令和5年度より、持っているが0.7%減少したが最も多かった。未記入が2.8%減っていた。

(13) 健康ポイント対象事業に参加されたことがありますか



令和5年度より、健康ポイント対象事業への参加がある人が1.9%増えているが、参加がない人が51.0%と最も多かった。

(14) 健康ポイント手帳が健康づくり（運動や検診受診等）のきっかけになりましたか



なつた・どちらかといえばなつたを合わせると 44.9% で、令和 5 年度より 14.8% 増えていた。

### (15) 考察

健康について関心がある村内者は 95.3%、関心がない村内者は 3.4% で、健康への関心は 3 年前とあまり変化がみられなかった。

健康のために気を付けていることでは、健康診断を受ける村内者は 84.6%、食事に気を付けている村内者は 67.6% と、健康意識が高く実践に結びついておられる様子がうかがえる。

健診（検診）を受けない理由は、受け方がわからないと回答した人が全員 30 歳代で、世帯へ配布している各種健診（検診）申し込みや、広報誌・ホームページなど複数の情報発信でも周知が難しいことを感じた。

健康ポイント事業の認知度は、事業対象年齢の 20 歳以上で 72.8% と 7 割を超え年々増加しているが、ポイント手帳所持者は 45.5% と半数以下、対象事業への参加は 29.9% と年々微増しているが少なかった。健康ポイント手帳が健康づくりのきっかけになったかについては、なつた 17.0%、どちらかといえばなつた 27.9% で、合わせて 44.9% と昨年度より 14.8% 増加し、アンケート回答者では健康ポイント事業が健康づくりのきっかけとなっている状況がうかがえた。

健康ポイント事業の参加など健康づくりへの取り組みにさらにつながり、健康寿命延伸へと結び付けてもらえるよう、今後も正しい情報発信や情報提供できる健康づくり事業を進めていきたい。